

区分36	専門分野 尿・糞便等一般検査	授業科目名	一般検査学実習	単位数	2単位 (60時間)
開講時期	1年 前期	担当教員	坂口 みどり	担当教員の 実務経験	有・無
◆実務経験の内容					
検査センター勤務後、九州医学技術専門学校					
◆授業の目的・目標					
基本的な実習技術の習得と検体の取り扱い方					
◆授業の概要・授業方針					
基本的な手技について学ぶ。技術を身に付けることを第1目標とし、楽しみながら取組むように促す。受身にならないようディスカッションも取り入れ、興味を持てる授業展開としたい。実習班にて考察を行い、グループ学習の効果を体感する。					
◆テキスト・参考資料等			◆成績評価の方法		
医歯薬出版 最新 臨床検査学講座「一般検査学」			期末試験		
授業計画					チェック欄
第1回	基本的な器具の操作について①				
第2回					
第3回	基本的な器具の操作について②				
第4回					
第5回	混濁尿の鑑別[自己尿にて実施]				
第6回					
第7回	尿pH[試験紙法の原理について実習]				
第8回					
第9回	尿比重[浮秤法、屈折計法、試験紙法の原理について実習]				
第10回					
第11回	尿蛋白定性検査法[煮沸法、パーディー法]				
第12回					
第13回	尿蛋白定性検査法[スルホサリチル酸法、ヘルル法、ロバート変法]				
第14回					
第15回	尿蛋白定性検査法[試験紙法の原理について実験]				
第16回					
第17回	尿蛋白定量検査法[KC法、マイクロTP(ピロガロールレッド)法]				
第18回					
第19回	尿糖定性検査法[ベネディクト法、ニーランデル法]				
第20回					
第21回	尿糖定性検査法[試験紙法の原理について実習]				
第22回					
第23回	尿糖定性検査法[ソモジー法]				
第24回					
第25回	尿ケトン体検査法[ランゲ法、ロテラー・吉川変法、レガール法、試験紙法]				
第26回					
第27回	尿ビリルビン定性検査法[ロザン法、ハリソン法、ワトソン・ホーキンソン法]				
第28回					
第29回	尿ウロビリニン体検査法[(ウロビリノゲン=ワーレスダイヤモンド法)、ウロビリニン体=シュレージンガー法(自己尿にて実施)]				
第30回					